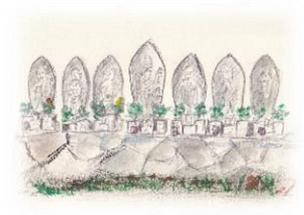
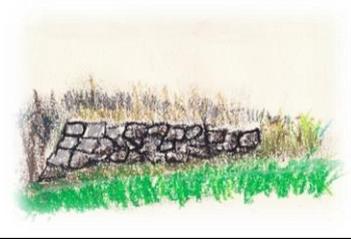


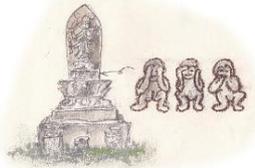
絵はがきリスト (下半田川町 1/2)

<p>1</p>	<p>稚児橋 蛇ヶ洞の大蛇伝説に出てくる稚児にちなんでつけられた橋の名前</p>		<p>9</p>	<p>八劔社とオオヒノキ 村の鎮守の神木大檜は樹齢 300 年を超す。瀬戸市の名木に指定されている。</p>	
<p>2</p>	<p>掛川小学校 校舎は昭和 58 年 3 月に現在の地に新設移転した。</p>		<p>10</p>	<p>妻の神社 昔話として伝わる小治呂と稗多古兄妹の悲話。それにまつわる縁結びの神が祀られている。</p>	
<p>3</p>	<p>嶺の上 (ねのえ) から俯瞰した下半田川集落 「根の上」の漢字を充てる向きもあるが地理的・地形的に見ると「嶺の上」が正しいと思われる。</p>		<p>11</p>	<p>六地藏 下半田川町墓地の一段高いところに並び、各家の墓を見守っている。</p>	
<p>4</p>	<p>平安時代木像仏 (絵はがき横) 瀬戸市で最も古いといわれる十一面観音像 (平安時代中期) と阿弥陀如来像 (平安時代後期) は愛知県指定有形文化財</p>		<p>12</p>	<p>庚申堂 下半田川町の一番辻の丘に建てられている。堂宇の中には古い木札が収められている。</p>	
<p>5</p>	<p>平安時代木像仏 (絵はがき縦) 瀬戸市で最も古いといわれる十一面観音像と阿弥陀如来像 (県指定有形文化財)</p>		<p>13</p>	<p>馬頭観音 国道 248 号線下半田川・市之倉境にあり、その昔、尾張の国と美濃の国を行き来する人々や馬を峠で見守ってきた。</p>	
<p>6</p>	<p>町民会館 昭和 59 年 5 月竣工。西隣には 3 年後にできたふれあいホールがある。敷地入り口には「曙光礼讃」の碑が建っている。</p>		<p>14</p>	<p>いしょうじ跡 定光寺老師の隠居所として建てられた蔭昌寺または林昌寺と呼ばれた寺の跡。室町時代の宝篋印塔が残っている。</p>	
<p>7</p>	<p>代官屋敷跡 (秦川城址) 戦国時代、秦氏が治めていた山城 (武家屋敷) の跡。東屋敷蛇ヶ洞入り口、嶺の上の真下に位置する。</p>		<p>15</p>	<p>曙光礼賛の碑 明治初期、共有林取得のために奔走した地元民の苦労と先見の明をたたえた碑。町民会館敷地内にある。</p>	
<p>8</p>	<p>リクシル上の通学路から見た御嶽山 冬には煙を吐く御嶽山がよく見える。</p>		<p>16</p>	<p>常夜灯 遠く昔から村人の手によって燈明が絶えることなくもし続けられている。御祭神は火防開運の神として、全国各地で信仰されている。</p>	

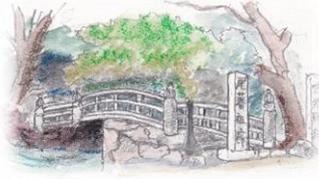
絵はがきリスト (下半田川町 2/2)

17	<p>オオサンショウウオ生息地</p> <p>蛇ヶ洞川は自然が豊か。オオサンショウウオ棲息域の日本最東端とされている。</p>		25	<p>沓掛学校 下半田川分教場</p> <p>八劍社南に位置し、明治16年から30年まで下半田川村の子がここで学んだ。現在は石垣が残るのみ。</p>	
18	<p>オオサンショウウオ (絵はがき横)</p> <p>国の特別天然記念物に指定されてる世界最大の両生類。3000万年前からほとんど進化せず、生きた化石といわれている。</p>		26		
19	<p>オオサンショウウオ (絵はがき縦)</p> <p>国の特別天然記念物に指定されている世界最大の両生類。3000万年前からほとんど進化せず、生きた化石といわれている。</p>		27		
20	<p>オオサンショウウオと看板</p> <p>蛇ヶ洞川人工巢穴付近の看板とオオサンショウウオ</p>		28		
21	<p>牛臥山と下半田川集落</p> <p>牛が臥したような形の山。その右手の谷はオオサンショウウオが棲む蛇ヶ洞川が流れている。</p>		29		
22	<p>しなのが丘病院</p> <p>掛川地域唯一の病院</p>		30		
23	<p>観音収蔵庫</p> <p>観音堂にあった平安時代の木像物二体が県の文化財に指定されて以降、この収蔵庫に安置されている。</p>		31		
24	<p>富士宮社</p> <p>御嶽山者神社などいくつかの神様が合祀されている。江戸元禄期の尾張と美濃の国境紛争時に活躍した富田孫九郎も祀られている。</p>		32		

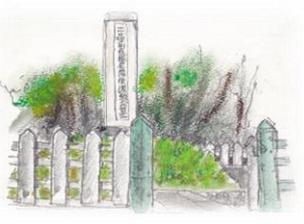
絵はがきリスト (定光寺町 1/3)

1	<p>さらしの滝 (絵はがき縦)</p> <p>玉野川にそそぐ御手洗川の「滝の茶屋」近くにある。水が岩を滑り落ちる様が晒を流したように見える。</p>		9	<p>金毘羅様</p> <p>四国の琴平様の分社が各地に多くあり、定光寺町では西島の築山に祀られている。</p>	
2	<p>愛岐トンネル群 (絵はがき縦)</p> <p>旧国鉄中央線 定光寺・古虎溪間のトンネル群 保存再生委員会が春と秋に一般開放</p>		10	<p>庚申様</p> <p>定光寺町では上内垣外にあり、道祖神として祀られている。</p>	
3	<p>稲荷様 (絵はがき縦)</p> <p>伏見稲荷の分霊を祀る地域のお稲荷さん</p>		11	<p>慈道観音 (絵はがき縦)</p> <p>定光寺町応夢亭脇で道行く人々を見守っている。</p>	
4	<p>稲荷様 (絵はがき横)</p> <p>伏見稲荷の分霊を祀る地域のお稲荷さん</p>		12	<p>慈道観音 (絵はがき横)</p> <p>定光寺町応夢亭脇で道行く人々を見守っている。</p>	
5	<p>掛川公民館</p> <p>公民館には地域力向上委員会の事務局もあり、地域活動の拠点となっている。</p>		13	<p>秋葉山常夜灯 (絵はがき縦)</p> <p>遠州秋葉神社の分霊を祀っていて毎晩お燈明をつけてお参りしていた。</p>	
6	<p>掛川小学校旧跡地</p> <p>木造つん張り校舎と、その後の木造2階建て校舎があった。(T2～S58)</p>		14	<p>松本家の枝垂れ桜</p> <p>掛川小学校の前身、東明学校杵掛出張所の初代校長であった松本茂左衛門の生家にある樹齢 100 年以上の枝垂れ桜。市の名木に指定されている。</p>	
7	<p>掛川小学校創設の地</p> <p>東明学校杵掛出張所<1874年～>跡地 定光寺町上内垣外(掛川小学校創設の地)</p>		15	<p>上の運動場跡</p> <p>幻の校舎掛川尋常小学校建設用地 昭和 44 年までは運動会で使われた 現在は民間ゴルフ場所有地</p>	
8	<p>宮刈池</p> <p>定光寺町から余床町へ抜ける道の途中にある池で水棲植物・昆虫の宝庫。かつては東島の水田五町歩を潤した灌漑用ため池。</p>		16	<p>城嶺橋</p> <p>昭和 12 年に完成。京都の四条大橋(昭和 17 年の架け替え以前の橋)を模して造られた。橋柱の「城嶺橋」の文字は徳川家十九代義親氏揮毫による。</p>	

絵はがきリスト (定光寺町 2/3)

17	<p>森林交流館 (絵はがき縦)</p> <p>定光寺自然休養林にある森林のレクリエーション機能を発揮させるために設けられた施設</p>		25	<p>中小企業大学校 (絵はがき横)</p> <p>平成元年4月、定光寺自然休養林内に開校。中小企業の発展を支援しうる人材の育成のための研修を実施している。</p>	
18	<p>森林交流館 (絵はがき横)</p> <p>定光寺自然休養林にある森林のレクリエーション機能を発揮させるために平成15年4月に完成した展示及び研修施設</p>		26	<p>直入橋</p> <p>応夢山定光寺の参道入り口の池に架かる橋。尾張藩2代藩主徳川光友が時の奉行 熊谷政実に命じて架設された石橋で、承応2年(1653)に完成。</p>	
19	<p>森林交流館前の森林鉄道</p> <p>長野県の赤沢美林で使われていたものが展示されている。</p>		27	<p>定光寺カントリークラブハウス</p> <p>定光寺町にあるナイターもできるパブリックコース。</p>	
20	<p>神明神社 (絵はがき縦)</p> <p>宮刈池に通じる林道入口にひっそりと建っている。</p>		28	<p>定光寺のエドヒガン</p> <p>定光寺霊園脇にある樹齢100年以上の巨木で根尾の薄墨桜と同種。</p>	
21	<p>神明神社 (絵はがき横)</p> <p>宮刈池に通じる林道入口にひっそりと建っている町の鎮守。</p>		29	<p>定光寺町民会館</p> <p>現在の建物は平成2年3月完成</p>	
22	<p>水神様 (絵はがき縦)</p> <p>水は最も重要なものの一つであり、水神は田の神と結びついた。定光寺町中島にあり、毎年4月3日が例祭。</p>		30	<p>定光寺無為殿</p> <p>1463年に建立された禅宗様式の仏殿。災害に遭い、1534年に修理再興。通称「無為殿」。国の重要文化財。</p>	
23	<p>水神様 (絵はがき横)</p> <p>水は最も重要なものの一つであり、水神は田の神と結びついた。定光寺町中島にあり、毎年4月3日が例祭。</p>		31	<p>東島から見た御嶽</p> <p>冬になると御嶽山の噴煙がよく見える。</p>	
24	<p>中小企業大学校 (絵はがき縦)</p> <p>平成元年4月、定光寺自然休養林内に開校。中小企業の発展を支援しうる人材の育成のための研修を実施している。</p>		32	<p>東島から見た中央アルプス</p> <p>冬には御嶽のやや右に真っ白い雪をかぶった中央アルプスが見える。</p>	

絵はがきリスト (定光寺町 3/3)

33	<p>徳川義直公廟所 1650年に没した初代尾張藩主義直の墓所。遺命により定光寺応夢山腹に造営。 1651年から始まった廟所建立は1699年にすべてが完成。国の重要文化財。</p>		40	<p>地神様 百姓の神様として広く各地で祀られている。平安以後広まった地藏信仰の一形態であり、定光寺町では上内垣外に祀られていて、9月10日が例祭日となっている。</p>	
34	<p>半ノ木集落 (絵はがき縦) 1600年ころより開拓がはじまり、5軒の入植者による集落となった。現在も耕作は続けられ一部の家や土蔵は残っているが無人集落となっている。</p>		41		
35	<p>半ノ木集落 (絵はがき横) 1600年ころより、開拓がはじまり5軒の入植者による集落となった。現在も耕作は続けられ、一部の家や土蔵は残っているが無人集落となっている。</p>		42		
36	<p>弁天堂 (絵はがき縦) 定光寺公園正伝池にあり、毎年4月末には御開帳がある。</p>		43		
37	<p>弁天堂 (絵はがき横) 定光寺公園正伝池にあり、毎年4月末には御開帳がある。</p>		44		
38	<p>也足(やそこ)から見た名古屋方面 定光寺境内南西方向の見晴らしの良い丘を通称「也足」(やそこ)と呼んでいる。かつては望洲亭という茶処があった。今の茶店はその名残。</p>		45		
39	<p>六地藏 定光寺町中島の青蓮墓地の六地藏には元禄15年(1702年)の刻銘がある。</p>		46		